

5-3-3 ^{すくなひこな}少彦名神社（重要文化財）

例祭日 1月8日

本社は、少彦名命を主神とし、他に神部神社末社 14 社の祭神を相殿とする。

もと神宮寺薬師社と称し、薬師 12 神を祀っていたが、維新後神仏分離に際し、臨濟寺に遷され、現在は少彦名命をご祭神とする。社殿は入母屋造銅瓦葺、朱塗で、細部に彩色を施し、特に欄間に飾られた立川流彫刻「十二支」は名作として著名である。

古来境内社として、病氣平癒の信仰がすこぶる篤く、御例祭には市内薬業関係者多数の参列がある。

平成 5 年 9 月吉日

静岡浅間神社

説明板より